



## 2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月14日

上場会社名 クボテック株式会社  
 コード番号 7709 URL <http://www.kubotek.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 久保哲夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 記虎政史 TEL 06-6443-1815  
 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 有価証券報告書提出予定日 2021年6月28日

配当支払開始予定日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	1,074	42.9	131		140		116	
2020年3月期	1,881	14.9	28		38		101	

(注) 包括利益 2021年3月期 103百万円 ( %) 2020年3月期 105百万円 ( %)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	8.46		10.0	5.3	12.2
2020年3月期	7.34		7.9	1.2	1.5

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	2,531	1,117	44.1	81.15
2020年3月期	2,799	1,221	43.6	88.69

(参考) 自己資本 2021年3月期 1,117百万円 2020年3月期 1,221百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	232	166	164	1,745
2020年3月期	240	171	445	1,843

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		0.00	0.00			
2021年3月期		0.00		0.00	0.00			
2022年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	500	27.1	75		80		30		2.18
通期	1,200	11.7	55		65		20		1.45

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	13,830,000 株	2020年3月期	13,830,000 株
期末自己株式数	2021年3月期	62,159 株	2020年3月期	62,159 株
期中平均株式数	2021年3月期	13,767,841 株	2020年3月期	13,767,841 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	836	46.8	62		48		78	
2020年3月期	1,571	47.0	57		46		17	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	5.73	
2020年3月期	1.30	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年3月期	2,404		1,132		47.1		82.24	
2020年3月期	2,648		1,210		45.7		87.92	

(参考) 自己資本 2021年3月期 1,132百万円 2020年3月期 1,210百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(追加情報) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15
4. その他 .....	16
生産、受注及び販売の状況 .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症により経済活動が抑制され、先行き不透明な状況が続きました。フラットパネルディスプレイ (FPD) の分野におきましては、FPDメーカーの設備投資が慎重な動きで推移し、厳しい受注環境が続きました。

このような環境の中、当社グループでは、品質や採算を重視しつつ、受注の確保に注力してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症による投資需要の低迷などにより、大幅な減収となりました。この結果、当連結会計年度の連結業績は、売上高1,074百万円（前連結会計年度比42.9%減）、営業損失131百万円（前連結会計年度は営業損失28百万円）、経常損失140百万円（前連結会計年度は経常損失38百万円）となり、特許和解金27百万円などを特別利益に計上した結果、親会社株主に帰属する当期純損失は116百万円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失101百万円）となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。なお、セグメント利益は営業利益ベースの数値でありません。

（日本）

日本セグメントでは、主力製品である画像処理外観検査装置の売上が大幅に減少しました。この結果、売上高は631百万円（前連結会計年度比53.0%減）、セグメント損失は62百万円（前連結会計年度はセグメント利益57百万円）となりました。

（米国）

米国セグメントでは、CAD/CAMソフト等の売上が減少しました。この結果、売上高は384百万円（前連結会計年度比7.9%減）、セグメント損失は25百万円（前連結会計年度はセグメント損失66百万円）となりました。

（韓国）

韓国セグメントでは、画像処理外観検査装置の売上が大幅に減少しました。この結果、売上高は58百万円（前連結会計年度比51.0%減）、セグメント損失は33百万円（前連結会計年度はセグメント損失54百万円）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ268百万円減少しました。流動資産は現金及び預金の減少98百万円、売上債権の減少123百万円などにより、255百万円減少しました。固定資産はほぼ変動がありませんでした。

負債は、前連結会計年度末に比べ164百万円減少しました。流動負債はほぼ変動がありませんでした。固定負債は長期借入金の減少147百万円などにより、161百万円減少しました。

純資産は、親会社株主に帰属する当期純損失116百万円の計上などにより、純資産合計が103百万円減少しました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ98百万円減少し、1,745百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果取得した資金は、232百万円（前連結会計年度比3.5%減）となりました。

これは主に減価償却費の計上177百万円、売上債権の減少121百万円、たな卸資産の減少36百万円、仕入債務の増加52百万円などの資金増加、税金等調整前当期純損失の計上114百万円、未払消費税等の減少27百万円などの資金減少によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、166百万円（前連結会計年度比2.8%減）となりました。

これは主にソフトウェアの取得による支出162百万円などの資金減少によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、164百万円(前連結会計年度比63.1%減)となりました。

これは長期借入による収入360百万円の資金増加、短期借入金の減少144百万円、長期借入金の返済による支出379百万円の資金減少によるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第35期 2020年3月期	第36期 2021年3月期
自己資本比率	43.6	44.1
時価ベースの自己資本比率	139.2	203.4
キャッシュ・フロー対有利子 負債比率	4.6	4.0
インタレスト・カバレッジ・ レシオ	24.9	32.3

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※1. 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

2. 株式時価総額は期末株価終値×期末発行済株式総数(自己株式除く)により算出しております。

3. 営業キャッシュ・フローはキャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期は依然不透明であり、当面厳しい事業環境が続くものと見込まれます。

次期の連結業績予想につきましては、先行きが極めて不透明であり、合理的な算定が困難な状況ではありますが、新型コロナウイルス感染症の影響は下期にかけて徐々に減衰していくと仮定し、売上高1,200百万円(前連結会計年度比11.7%増)、営業損失55百万円(前連結会計年度は営業損失131百万円)、経常損失65百万円(前連結会計年度は経常損失140百万円)、親会社株主に帰属する当期純損失20百万円(前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失116百万円)を見込んでおります。

##### 「業績予想に関する留意事項」

この資料に記載されている2022年3月期の業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいております。従いまして、投資等の判断を行うに際しては、これらの業績見通しのみには依拠することは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

現在当社の主たる事業活動領域は液晶、次世代ディスプレイ、機能性フィルムなどの検査機システムですが、生産効率化への寄与、新素材への対応など、急速な技術開発を特徴とする市場であり、需要の変動、設備投資額の動向、価格、競争状況、経済環境の変化、その他多くの要因が業績に影響を与えることがあります。また当社は国内だけではなく海外においても取引を行っております。現在はほぼ円貨建取引を行っておりますが、将来外貨建取引が増え、為替相場の変動が業績に影響を与える状況になる可能性もあります。

## (5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、3期連続して営業損失を計上し、また受注残高が著しく減少しております。特定の市場・顧客の設備投資及び特定の顧客からの受注動向によって、業績の変動が避けられず継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しておりますが、当該事象等を解消するため事業構造の改革に取り組んでおり、重要な資金繰り懸念もないことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

当該事象等を解消するための具体的な施策は、次のとおりであります。

画像処理外観検査装置においては、特定の市場や顧客の設備投資動向、受注に依存するこれまでの状況から、機能性フィルムや次世代パネル検査装置などの品質や採算を重視した市場、製品を収益の柱とする事業への転換を進めております。

3Dソリューションシステムにおいては、当社エンジンを採用した3次元比較検証ソフトウェアなど新製品や、メディアネット機器では、市場ニーズの高い監視分野のシステムや放送局向け4K・8Kに対応した映像伝送装置の販売拡大に注力しています。

生産に関しては工場での業務の効率化を図り、また人件費など固定費を削減することで、財務体質の強化を進めております。

さらに新規事業として次世代フライホイールを用いた大出力発電装置やオーディオ事業の早期事業化を推進してまいります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,875,636	1,777,114
受取手形及び売掛金	499,373	406,610
電子記録債権	60,429	29,570
商品及び製品	12,484	3,259
仕掛品	105,452	66,699
原材料及び貯蔵品	40,812	51,991
その他	16,049	19,878
貸倒引当金	△24,403	△24,942
流動資産合計	2,585,833	2,330,181
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品	296,258	294,079
減価償却累計額	△289,946	△290,883
工具、器具及び備品（純額）	6,312	3,196
その他	196,633	194,886
減価償却累計額	△194,983	△193,854
その他（純額）	1,650	1,031
有形固定資産合計	7,962	4,228
無形固定資産		
ソフトウェア	179,815	168,725
その他	0	0
無形固定資産合計	179,815	168,725
投資その他の資産		
投資有価証券	4,645	3,603
繰延税金資産	705	666
破産更生債権等	196	196
その他	20,683	23,885
貸倒引当金	△196	△196
投資その他の資産合計	26,034	28,155
固定資産合計	213,811	201,108
資産合計	2,799,645	2,531,289

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,619	82,390
短期借入金	200,000	55,236
1年内返済予定の長期借入金	379,424	507,770
未払法人税等	6,407	9,593
前受金	225,388	219,391
賞与引当金	3,840	3,450
その他	156,046	120,616
流動負債合計	1,001,726	998,448
固定負債		
長期借入金	522,440	374,670
繰延税金負債	2,274	738
退職給付に係る負債	46,776	36,660
その他	5,295	3,446
固定負債合計	576,786	415,514
負債合計	1,578,512	1,413,963
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,951,750	1,951,750
利益剰余金	△677,722	△794,246
自己株式	△81,717	△81,717
株主資本合計	1,192,310	1,075,785
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	756
為替換算調整勘定	28,822	40,784
その他の包括利益累計額合計	28,822	41,540
純資産合計	1,221,133	1,117,326
負債純資産合計	2,799,645	2,531,289



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	1,881,111	1,074,720
売上原価	1,163,997	641,986
売上総利益	717,114	432,733
販売費及び一般管理費	745,996	564,137
営業損失(△)	△28,882	△131,403
営業外収益		
受取利息	503	302
受取配当金	188	332
貯蔵品売却益	192	-
その他	90	90
営業外収益合計	975	725
営業外費用		
支払利息	10,323	7,922
為替差損	496	1,092
その他	15	322
営業外費用合計	10,836	9,336
経常損失(△)	△38,742	△140,014
特別利益		
投資有価証券売却益	-	2,279
関係会社清算益	1,483	-
特許和解金	-	27,272
特別利益合計	1,483	29,552
特別損失		
減損損失	54,833	3,746
投資有価証券評価損	4,525	-
特別退職金	1,456	-
特別損失合計	60,816	3,746
税金等調整前当期純損失(△)	△98,075	△114,208
法人税、住民税及び事業税	6,524	4,142
法人税等調整額	△3,572	△1,827
法人税等合計	2,952	2,315
当期純損失(△)	△101,028	△116,524
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	-	-
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△101,028	△116,524

## 連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純損失 (△)	△101,028	△116,524
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	747	756
為替換算調整勘定	△5,612	11,961
その他の包括利益合計	△4,865	12,717
包括利益	△105,893	△103,806
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△105,893	△103,806
非支配株主に係る包括利益	-	-

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,951,750	△576,694	△81,717	1,293,338	△747	34,435	33,688	1,327,026
当期変動額								
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)		△101,028		△101,028				△101,028
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					747	△5,612	△4,865	△4,865
当期変動額合計	-	△101,028	-	△101,028	747	△5,612	△4,865	△105,893
当期末残高	1,951,750	△677,722	△81,717	1,192,310	-	28,822	28,822	1,221,133

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,951,750	△677,722	△81,717	1,192,310	-	28,822	28,822	1,221,133
当期変動額								
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)		△116,524		△116,524				△116,524
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					756	11,961	12,717	12,717
当期変動額合計	-	△116,524	-	△116,524	756	11,961	12,717	△103,806
当期末残高	1,951,750	△794,246	△81,717	1,075,785	756	40,784	41,540	1,117,326

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純損失 (△)	△98,075	△114,208
減価償却費	158,964	177,877
減損損失	54,833	3,746
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	203	674
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,700	△390
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△3,876	△10,115
関係会社整理損失引当金の増減額 (△は減少)	△32,430	-
受取利息及び受取配当金	△692	△634
支払利息	10,323	7,922
為替差損益 (△は益)	1,008	△2,746
特許和解金	-	△27,272
投資有価証券評価損益 (△は益)	4,525	-
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△2,279
売上債権の増減額 (△は増加)	257,744	121,171
たな卸資産の増減額 (△は増加)	67,050	36,852
未収消費税等の増減額 (△は増加)	14,381	-
未払消費税等の増減額 (△は減少)	40,895	△27,941
仕入債務の増減額 (△は減少)	△232,770	52,655
前受金の増減額 (△は減少)	10,330	5,982
前払費用の増減額 (△は増加)	△893	△2,920
未払金の増減額 (△は減少)	20,772	△7,191
その他	△8,187	△665
小計	258,410	210,515
利息及び配当金の受取額	689	631
利息の支払額	△9,677	△7,202
特許和解金の受取額	-	27,272
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△8,611	1,212
営業活動によるキャッシュ・フロー	240,811	232,429
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△2,556	△2,544
投資有価証券の売却による収入	-	6,955
有形固定資産の取得による支出	△8,196	△10,141
ソフトウェアの取得による支出	△162,511	△162,773
その他	1,890	1,900
投資活動によるキャッシュ・フロー	△171,375	△166,604
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	△144,763
長期借入れによる収入	-	360,000
長期借入金の返済による支出	△445,424	△379,424
財務活動によるキャッシュ・フロー	△445,424	△164,187
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,576	△161
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△384,564	△98,524
現金及び現金同等物の期首残高	2,228,526	1,843,962
現金及び現金同等物の期末残高	1,843,962	1,745,437

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症（以下、「本感染症」という。）に伴う当社グループへの直接的な影響は、主に本感染症による外出自粛等に伴う当社グループの営業活動の制限や取引先の投資需要の低迷などによる売上減少であります。一方で、本感染症が一般的な経済活動や事業環境に及ぼす影響は、広範かつ多岐にわたると考えられ、また、その今後の広がり方や収束時期等を含め、当社グループへの影響を将来にわたって定量的に予想することは極めて困難であります。

したがって、当社グループは、2022年3月期の一定期間にわたり当該影響が継続するものとの仮定を前提とし、当社グループが現時点で把握できる最新の情報等を踏まえて、貸倒引当金等の会計上の見積りを行っております。

なお、本感染症の収束時期等の変動によって、当社グループの翌連結会計年度の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営者が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、画像処理外観検査装置の他、3Dソリューションシステム及びメディアネット機器を生産・販売しております。主な生産活動は当社が担当し、販売活動のうち、国内とアジア地域においては当社と韓国子会社が、米州においては米国子会社が担当しております。

海外子会社はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「米国」、「韓国」の3つを報告セグメントとしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、直近の有価証券報告書の「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国	
売上高				
外部顧客への売上高	1,343,579	417,584	119,947	1,881,111
セグメント間の内部 売上高又は振替高	227,775	-	18,856	246,631
計	1,571,354	417,584	138,804	2,127,743
セグメント利益又は損失(△)	57,792	△66,711	△54,480	△63,400
セグメント資産	2,648,955	101,747	100,395	2,851,098
その他の項目				
減価償却費	153,387	6,649	58	160,095
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	178,509	962	255	179,727

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国	
売上高				
外部顧客への売上高	631,515	384,406	58,798	1,074,720
セグメント間の内部 売上高又は振替高	204,946	-	19,732	224,678
計	836,462	384,406	78,530	1,299,399
セグメント損失(△)	△62,449	△25,041	△33,198	△120,689
セグメント資産	2,404,763	109,176	69,485	2,583,424
その他の項目				
減価償却費	179,860	5,744	51	184,656
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	169,130	2,371	-	171,501

## 4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,127,743	1,299,399
セグメント間取引消去	△246,631	△224,678
連結財務諸表の売上高	1,881,111	1,074,720

(単位：千円)

損失	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	△63,400	△120,689
セグメント間取引消去	5,262	5,133
内部利益の調整額	△6,541	3,425
貸倒引当金の調整額	35,796	△19,272
連結財務諸表の営業損失(△)	△28,882	△131,403

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,851,098	2,583,424
セグメント間取引消去	△380,733	△368,240
内部利益の調整額	△8,611	△5,186
その他	337,892	321,292
連結財務諸表の資産合計	2,799,645	2,531,289

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	160,095	184,656	△1,130	△6,778	158,964	177,877
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	179,727	171,501	△6,778	△4,256	172,948	167,244

(注) 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、内部利益の消去額であります。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	画像処理外観検査装置	3Dソリューションシステム	その他	合計
外部顧客への売上高	1,181,034	558,235	141,841	1,881,111

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日本	韓国	台湾	中国	米州	その他	合計
1,185,120	122,647	135,624	17,893	373,812	46,013	1,881,111

(注) 当社及び連結子会社の国又は地域における売上高であり、国又は地域の区分は地理的近接度によっておりません。

## (2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	米国	その他	合計
1,650	6,085	226	7,962

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社ウィンテック	609,775	日本
ダイترون株式会社	229,474	日本

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	画像処理外観検査装置	3Dソリューションシステム	その他	合計
外部顧客への売上高	362,509	559,899	152,311	1,074,720

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日本	韓国	台湾	中国	米州	その他	合計
488,040	62,786	109,629	28,648	348,489	37,124	1,074,720

(注) 当社及び連結子会社の国又は地域における売上高であり、国又は地域の区分は地理的近接度によっておりません。

## (2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	米国	その他	合計
1,032	3,019	176	4,228



## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国	
減損損失	54,833	—	—	54,833

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国	
減損損失	3,746	—	—	3,746

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	88円69銭	81円15銭
1株当たり当期純損失金額(△)	△7円34銭	△8円46銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△101,028	△116,524
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る 親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△101,028	△116,524
普通株式の期中平均株式数(株)	13,767,841	13,767,841

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

## 生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当連結会計年度における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前期比(%)
日本	592,781	△53.4
米国	384,367	△8.0
韓国	49,593	△60.1
合計	1,026,742	△43.4

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2. 金額は、販売価格によっております。  
 3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注実績

当連結会計年度における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前期比(%)	受注残高(千円)	前期比(%)
日本	355,133	△4.5	121,600	+31.9
韓国	57,364	△50.1	456	△75.9
合計	412,498	△15.3	122,056	+29.8

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 2. 米国については、見込生産を行っているため受注実績はありません。

## (3) 販売実績

当連結会計年度における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前期比(%)
日本	631,515	△53.0
米国	384,406	△7.9
韓国	58,798	△51.0
合計	1,074,720	△42.9

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前連結会計年度		当連結会計年度	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
株式会社ウィンテック	609,775	32.4	—	—
ダイトロン株式会社	229,474	12.2	—	—

3. 当連結会計年度について、当該割合が100分の10を超える相手先がないため、記載を省略しております。  
 4. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。